

女性チャレンジ応援拠点だより 2020 9月

〇●〇コラム【ゆく夏くる秋、急な変化でも実りを！】〇●〇

9月に入りましたが、暑い日が続いております。マスク着用はつらいものがありますが、今では一つの生活習慣、レジ待ちの間隔空けもすっかり定着しました。在宅勤務やオンライン教育も広がり、働き方・くらし方の変化が急ピッチです。フランスの著名な数学者がこんなことを言っています。『真に貴重な情報は“流れの変化”にある』。状況の変化を読み、予想し、それに応じて動くことの大事さを説いています。そうすることで、『不安で動き出せない競争者に対し決定的な優位に立つ』、というわけです。



「競争者に対し」はともかく、“流れの変化”を読むことはとても大事。特に世に出て活動しようとするみなさんにとっては、流れの小さな変化を見逃さず、適切な対応をとることで、事がスムーズに運び、時には新しい仕事の機会につながります。

何が適切な対応・動きなのかは、みなさん個々人の判断に依り、それが「流儀」にもつながります。そこで今月の「チャレンジが実る流儀〈ケーススタディ〉」は、

～ケース6『流れ変化を読み、とる行動』～

その1は、打ち合わせの場でのことです。先方の担当者ともよく知った間柄で、これまで何度も打ち合わせをしてきたAさん。いつものように1時間半ほどの打ち合わせを終え、挨拶をして、先方の事業所を出て、帰り道に打ち合わせ内容をおさらいしていた時、思い出しました、“あのとき一瞬先方の表情が微妙にかわった…”。その場で気づいたそうですが、話の流れもあり、そのままやり過ごしたのです。“質問もなかったし、気にすることはないか”と、一旦は思ったそうですが、“いや、やっぱり何かあるはず…”と考え直しました。“さて、どうしようか…”と頭をめぐらせ、とった行動は、「念のためご連絡」というタイトルでメールを送り、打ち合わせの全体確認と気になる点などのおうかがいをしたのです。「もしこれをやっていなかったら、今回は何もなくても、いずれ何かしら行き違いが生まれて、ミスやトラブルに発展したんじゃないかと思います」とAさん。

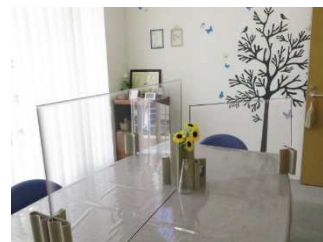
その2は、活動の幅が広がり始めたBさんの例です。ご本人の努力もあり、仕事の依頼も多方面から寄せられ、協ラストップも増え出しましたが、一抹の不安を感じ始めたBさん。仕事への想いや姿勢に発足メンバーとの濃淡がみえ、組織としてのマネジメント体制をしっかりと整えないと、“たぶん、思いがけない問題が出てくる…”と見てとったのです。そこでまずとった行動は、顧問を招聘すること。管理キャリアの長かった第一線を退いた方を知人に紹介してもらい、お願いしたのです。これを皮切りに、Bさんの事業所に応じた、経営管理全般の整備にとりかかり、その後も安定した活動を続けられています。

ほんの一例でしたが、スルーしがちな小さな変化に注目する、目の前の慌ただしい状況を客観視する余裕をもつ、そして想像力を働かせ、必要なアプローチを、タイミングを外さず、実行する。これらは、チャレンジのよりよい進展のために心得ておきたいものです。

みなさんの中には、いま進めていることが、ちょうど一つの節目、または転機にきているという方もいらっしゃるのではないのでしょうか。“そうかも…”と思われた方はぜひ拠点をお訪ねください。一緒に「流れの変化」読み、必要な次のアプローチを考えていきましょう。みなさんのご利用をスタッフ一同お待ちしております。

。°+°。°+°。ご来室、お待ちしております °。°+ °。°

ソーシャルディスタンス確保のため、一度の入室人数は3人までとしていますが、ほとんどの日で定員に余裕があります。換気や清拭による消毒などの徹底に加え、新たにテーブルマスク（飛沫感染防止板）を設置し、安心してお話いただける空間づくりに努めています。メールでの相談は随時、開室時間中は電話でも相談できます。



女性チャレンジ応援拠点

場所：大阪市天王寺区上汐 5-6-25 クレオ大阪中央 4階
電話&ファックス：06-7659-9640
メール：women-kyoten@danjo.osaka.jp
運営：大阪市立男女共同参画センター中央館

※開室日

※日・月曜日、祝日、祝休日の翌日は休室

火	水	木	金	土
10:30 ? 12:30	18:00 ? 20:00	13:00 ? 15:00	10:30 ? 12:30	13:00 ? 15:00

※開室時間内は自由に入退室いただけます。
お気軽にお立ち寄りください。

